

建設業キャリアアップシステム学習会

9月21日(金) 19:00～
支部にて開催・お申込は支部事務所まで

無料法律相談

9月28日(金) 13:30～・支部会館
※事前の電話予約が必要です

きたたま

第528号 2018年9月号
組織現勢 2767人
東京土建一般労働組合
府中国立支部教宣部
発行者 きたたま編集委員会
事務所 府中市晴見町 2-15-5
電話 042-363-6554(代)
FAX 042-363-6847

大抽選会

当選された皆様
おめでとう
ございます

全国百貨店共通商品券30000円



工藤廣子さん

ディズニーペアチケット

前・田中桂子さん
右・高橋勝さん



ソーダストリーム



左・井上義宏さん
右・堀江美津江さん

JCBギフト券5000円



後列中央・岡野亨さん

左から向井美代子さん、2人目・高橋力仁さん、3人目・武田照夫さん、右端・小川公苗さん



米俵

左2人目・山崎心葉さん
右端・海老澤広一さん



クオカード3000円

大人のビーチフラッグ
優勝・中河原・高橋力仁さん



一家でハイ、チーズ

子どものイベントも大好評

スイカ割り ビーチフラッグ



この日一番の盛り上がり

BBQだけじゃない
ビーチを使ったイベント



支部対抗
後継者腕相撲



木下、松本両組織部長

お疲れ様でした

雨が降りしきる中開催された秋の出陣式。今年はずいぶん新しく出来た、タチヒビーチにて、BBQが行われました。総勢694人の参加は過去最大。持ち寄り56人。この勢いを秋の仲間づくり月間に繋ぎ、5年連続の実増を達成しよう。



5年連続の実増を確信に
先を見据えた行動と培ってきた分会組織力で
2019
秋の仲間づくり月間 早期達成を目指そう!

東京土建府中国立支部



空に向かって団結ガンパロー!



参加42人・持ちより9人



参加37人・持ちより5人



参加31人・持ちより7人



参加56人・持ちより5人



参加41人・持ちより6人



参加50人・持ちより6人



参加40人・持ちより5人



参加22人・持ちより3人

▼皆様連日の暑い中での作業お疲れ様です。今年度より国立分会長になりました小笠原です。国立分会は今年度より私を含め新体制で開始し早半年...
▼役員が2人体制の中、なかなか役員候補が現れず苦戦を強いられる状況です。
▼春の仲間づくりでは目標達成が出来ず、住宅デーにおきましても天候に恵まれず木工教室の数の達成もできませんでした。しかしながら秋の仲間づくりではなんと春の挽回をしようと奮起しているところです。
▼私自身仲間づくりをするにあたり昨年度まで参加できておらず、仲間づくりや組合の仲間の意味を理解しておりませんでした。支部四役、分会の諸先輩方へ相談し、お力を頂戴することによりなんとか秋はと思っております。
▼出陣式BBQの持ち寄りから始まり、分会レクリエーションの成功、さらには国立市民祭りの11月に開催された前半での挽回を後半はしていきたくと思っております。日々の行動が結果につながるのには仕事と同様、支部四役の方々からの指導、ご鞭撻を頂戴しながら国立分会を盛り上げて行きます。また、皆様と共に府中国立支部を盛り上げられるよう精進いたします。今後とも宜しくお願ひ致します。(国立分会・設計・小笠原秀)

道具箱

2018 ヒロシマ 原水禁世界大会参加報告

ヒロシマを学んで はじめに

私が生まれたのは昭和52年8月6日午前8時5分でした。

小学校の時に学校の図書館で『はだしのゲン』を知り、原爆のごとく8月6日に何が起きたのか、被爆者の方々の苦悩を知りました。また、『黒い雨にうたれて』や『ヒカドーン』などを見て衝撃を受けました。その時に思ったことは、私が生まれた時と場所が違ったら私は生まれて一瞬に死んでいたはずなんです。

長年、いつか広島に行ければと思っていたところ今回のお話を頂戴しました。

初めてのヒロシマ

2018年8月4日〜6日までの3日間、開会式から閉会式まで府中国立支部を代表して参加しました。

私は大会初参加で、かつ広島県へ行くのも初めてであったので少々緊張しての出発となりました。初めて広島に降り立った際の感想は、気温34℃という猛暑の最中だったので、とんでもない時期に来てしまった、というのが正直な気持ちでした。しかし、そんな気持ちも吹き飛ばしてしまうくらいにヒバクシャの切なる願いを強く感じることができ、今大会に参加して本当に良かったと思います。

8月4日(土)、世界大会開会総会

県立総合体育館で行われた開会総会には、参加者5,000人程。各地域から多くの方が会場に集結し、大会での盛り上がりや熱気は、汗が噴き出す程暑い!!というところが物語っていました。驚いたのは、海外からいらした来賓の方々が口を揃えて言っていた「核兵器禁止条約に調印し、批准する国を増やして発効まで戦おう」ということ。また、その時の率直な感想は「ああ、ここに集まっていた人はみんな、ただただ核のない平和な世界を願っているんだなあ」として「世界を辿り考えることによって核兵器の使用を阻止する」という研究。

8月5日(日)、分科会・平和記念資料館

私が参加した分科会は「核兵器のない平和で公正な世界へー草の根の行動」というテーマ「ヒバクシャ国際署名」を中心として垣根を超えた平和と民主主義を願う共同の活動経験を力に世界の反核運動と一緒に草の根の行動で核兵器のない平和で公正な世界に向けていくという内容でした。

最初に原水爆禁止世界大会起草委員長で関西学院大

平和記念資料館で記念式典

学芸部の富田宏治教授から「核兵器禁止条約に関するミニ講義」が行われ、講話にて、条約が国連で採択されるまでの経緯や条約批准をした国には核の抑止力の行使などを禁止するなど抜け道のない条約になっていくことを説明して頂きました。まさに「Non more Hiroshima Non more Nagasaki Non more nuclear weapons」が世界に届いたものなのだ。そして、日本には条約に批准することに對しての弊害は何もないのだということも仰っていました。

宮城県原爆被害者の会事務局長の木村緋沙子さんの、実体験を通して語られた核兵器の恐ろしさや残酷さ。いずれも私のボケた頭を揺さぶる衝撃的な内容で

終わりになりますが、平成の最後はICANのノーベル平和賞受賞や核兵器禁止条約の採択、憲法9条改憲案など戦争にまつわる話題が数多くありました。これは、世界が平和の実現に向けて大きく前進しようとしている転換期ということだと思います。この平和へ

に参加。8時15分に黙祷をしたのちに、広島市長の平和宣言が読みあげられました。

今回、広島に参加させて頂いたことで原爆の問題、核兵器の問題について再度、深く考えさせられました。言葉では言い表せないことも多くありますが、今後、広島のこと、原爆のことを伝えられる範囲で私も草の根行動をしようと思ひ、是非広島に行つて見て学んで伝えてほしいと。

最後に、今回ご同行をしていただきました方々と私を送り出していただきました東京土建には感謝と御礼を申し上げます。

（書記・阪本）

（書記・高橋）

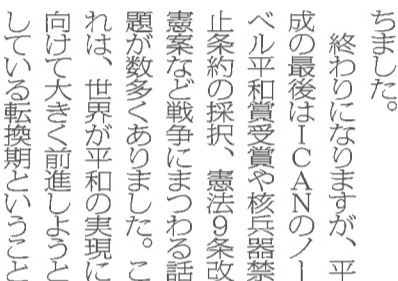
（書記・建具事務）



原水禁2018大会会場



原爆ドーム



夜の平和公園



府中の仲間と

夜の平和公園

株式会社クレンセ(事業所分会) 立飛にドローン 学校設立



事業所分会・分会長 神崎斗志さん

多摩モノレール高松駅からすぐの場所に、ドローンパイロットを育成するDrone School Japanが8月16日に開校し、開校式に潜入してきました。ドローンとは、無人航空機のこと、無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機だそうです。テレビ番組などで上空から撮っている映像を見たことありませんか。最近ではヘリコプターではなく、このドローンを用いて撮影することが多くなっています。現在、民間ではあまり見ないものの、このように撮影などで多く使われていて、建設業にもこれから使われることが見込まれています。そんなドローンの学校を何故記事にするのかというところ、事業所分会の株式会社クレンセが学校創立に協力しているのです。



ドローン体験をする参加者



ロープのデモンストラーション

怒りの提灯デモ

7.31



「市民怒りの提灯デモ」が7月31日夕方6時から府中公園で行われ、国會議員の吉良さんをはじめ、都議會議員の方々、そして東京土建をはじめ他団体を含め160人以上が集まりました。怒りの「リレートーク」そして「団結カンパロ

ウ」の後、吉良さん先頭に提灯を掲げ、ケヤキ通りから、旧甲州街道を、馬場東公園まで「アベヤメロ!」「資金アゲロ!」などなど、鳴り物を鳴らしシユプレヒコールの声を上げ、少しでも私たちの気持ちが届くように一歩一歩に進んで歩きました。また、道中では今では珍しい「提灯デモ行進」に足を止め見学している人たちが多数見受けられました。(いちよう分会・福富美代子・建具事務)

府中子どもまつり

10月7日(日) すずかけ公園

10:00~15:00

※雨天時は8日(月・祝)に延期

平和祭り

10月7日(日) 府中公園

10:00~15:00

7日は両会場をはしごしよう!

バスレクin飯能

10月7日(日)

ベジQ飯能 & サイボクハム

子どもゲーム大会では
ディズニーペアチケット
ニンテンドースイッチ
などが当たる!

※お申込は分会後援者部員
または支部事務所まで